下関市豊田町で飼料用イネ（ＷＣＳ）の作付けが拡大

下関農林事務所畜産部
平成22年7月27日

下関市豊田町では、水田利活用自給力向上事業の創設により、耕畜が連携したＷＣＳの取り組みが平成21年度５戸4.2haから平成22年度には17戸8.7haに拡大しました。

そこで、ＷＣＳの取り組みを円滑かつ適正に実施するために、関係する生産農家（耕種）と利用農家（畜産）の双方の参加を得て、第１回の検討会を開催しました。

下関市からＷＣＳの取り組み状況、農林事務所から飼料用稲の栽培管理や収穫調製についてのポイントを説明。また、農政事務所から、制度の安定的な継続を図るためには米の不正規流通が起きない厳正な取り組みが必要だと強調されました。

意見交換では、適正な耕畜連携連携をすすめるためにＷＣＳの適正な流通価格を示して欲しいとの要望や、面積拡大に伴い収穫調製に支障があり機械の導入をして欲しい等の要望がありました。

検討会開催状況